

営農ウィークリーNEWS



夏の主力品目【京おくら】【京都茄子】

販売促進マルシェを開催



7月18日、京都市西京区にあるファミリーマート洛西新林本通店の駐車場にて、「京おくら」「京都茄子」の販売促進マルシェを行いました。

「京おくら」「京都茄子」は、当JAの夏を代表する主力品目で、まもなく収穫の最盛期を迎えようとしています。

収穫直後の農産物は、新鮮で非常に品質がよく、買い求める来店者に喜ばれました。

当日は、今年、内容を新たに新刷した「京おくらリーフレット」や、株Mizkanが発行する食品ロス削減に取り組む「もったい菜漬け®レシピブック」を配布し、消費宣伝活動に取り組みました。



来店者からは、「レシピブックをもらえるのは、料理のレパートリーが増え、とてもありがたい」や「こんなに色艶のきれいな野菜を見るのは初めて」など、うれしい声をいただきました。

今後も、「京おくら」「京都茄子」など、管内の農産物を積極的にPRしていきます！！

—TAC information—



水稻園場

全農京都防除合理化試験圃場を巡回調査



7月9日、営農販売課は全農京都府本部、肥料・農薬メーカーと共に、2025年度防除合理化試験圃場の巡回調査を行いました。

防除合理化とは、新しい肥料や農薬の普及、適切な指導により、過剰な施肥・防除を防ぎ、生産コストの削減を進める為の、試験及び検討とされています。

各試験圃場の生育状況や、防除効果の調査を行いました。

今後、調査内容を検討し、全農京都府本部が開催する、防除合理化成績検討会で報告されます。

たけのこ生産者のみなさんへ

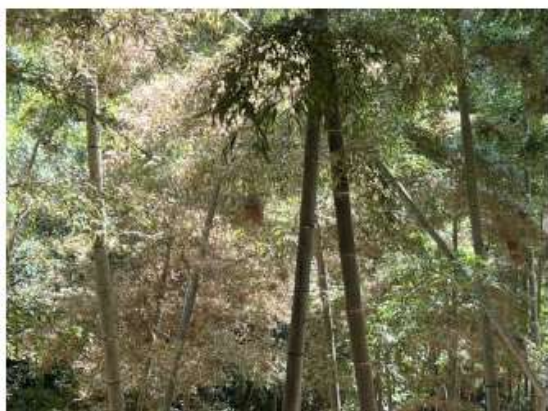
今年もタケの葉を白変させるチョウ目害虫の被害が拡大中 早急に防除対策を検討してください

昨夏、京都乙訓管内のタケノコほ場では、チョウ目の害虫である「シナチクノメイガ」の被害が拡大し、問題となりました。

本年も、6月下旬頃から、タケの葉にかすれ状の白変とチョウ目の幼虫が確認され、7月には一部ほ場において昨年と同様に白変が拡大していく症状を認めました。

現在発生中のチョウ目害虫の種類については、被害の状況から「シナチクノメイガ」が発生していると推察されます。虫種については、現在京都府農林センターで種の確認を進めているところです。

生産者のみなさんもタケノコほ場について観察していただき、「シナチクノメイガ」が発生している兆しを確認した場合には、令和7年1月15日付けで当センターが配布した資料の内容にしたがって防除に当たることを検討してください。



①被害ほ場の状況

枝葉が白変し、徐々に周辺に被害が拡大している。



②被害初期の枝葉

葉が斑入りのようにかすれ状に白変する。これが徐々に拡大し、葉全体が白変していく。



③発生中の幼虫

写真は中齢期と考えられる時期。幼虫は糸を吐き、生息密度が高いとぶら下がっている個体も見られる。

令和7年7月14日
京都府京都乙訓農業改良普及センター